

GP 富県宮城グランプリ受賞



多彩な先端技術と独自の開発技術で
ダイカストとMIMのさらなる飛躍を目指し
地域経済の発展に貢献していく

今後の取り組みについて語る齋藤明彦社長

ダイカスト製品の安定的な
供給など県の自動車産業の
振興に貢献

12回目となった「富県宮城グランプリ」の最高賞であるグランプリに輝いたのは岩機ダイカスト工業株式会社。国の出先機関、県内の市町村、企業、団体、地方振興事務所などから17件の推薦があり、県内の産学官の主要団体で構成する「富県宮城推進会議」幹事への意見聴取等を経て、村井嘉浩宮城県知事が最終的に決定した。県は「ダイカスト製品の安定的な供給などにより本県の自動車産業の振興に大きく貢献している。震災時には当面の売上が半減するという想定がある中でも、社員を解雇することなく更なる高付加価値・低コスト化を図り、業績を拡大。また、新たな金属粉末射出成形法（MIM）を開発し、医療機器向け精密部品の量産

岩機ダイカスト工業株式会社

代表取締役社長
齋藤 明彦 さん
Saito Akihiko



富県宮城グランプリの賞状を手にした齋藤代表取締役社長と村井知事



1 オートメーション化された製造工程
2 X線検査機
3 山元町鷺足にある本社・本社工場

化を実現し、その生産能力についても順次増強を図っている」と受賞理由を挙げた。

2月9日、宮城県庁で表彰式が行われ、齋藤明彦代表取締役社長は「みやぎ工業会をはじめ、地域の皆さまのご協力、ご指導のおかげで受賞できたものと考えている。今後も宮城県や地域の発展に貢献してまいりたい」と今後の抱負を語った。

金型設計から製品加工までダイカストに 関する全ての工程を自社内で行う 一貫生産体制を構築

受賞の大きな理由となった「ダイカスト」の安定供給を支えるのは、同社の強みである社内一貫生産体制だ。顧客のオーダーどおりにつくるのではなく、ニーズに応えながらも、さらなる高品質・高精度を実現させ、徹底的に無駄を排除してコストを削減した製品づくりを提案し、高い信頼を得ている。また、オートメーション化・省エネ化の追求、環境に配慮した生産ラインを構築し、常に時代の最先端の水準を保持している。積極的な取組の背景には、創業者である齋藤吉雄氏の「ダイカストの命は金型」との

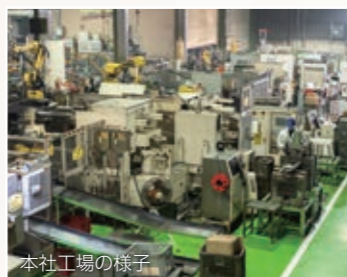


ダイカストの製品サンプル

想いがある。自ら熱心に技術を磨き、積極的な設備投資や人材育成で独自のノウハウと技術を構築してきた。現在では、国内外に5か所の生産拠点を展開し、成長を続けている。今後の人手不足対策として、AIを使用した検査工程の自動化システムの研究開発にも力を入れている。

東日本大震災時の危機に対し、 自動車産業全体の生産を守るため 会社の命である金型を外部に委ねる

東日本大震災では、県内4つの工場のうち、1つが津波により流出。他の工場は海岸から離れた場所にあったが、基幹設備が使えない状態に。ダイカスト部品は、アルミニウムなどの金属を金型に流し込んでつくるが、停電により高温で温めていたアルミニウム全てが固まってしまった。しかし、当時の社長である齋藤吉雄氏がたまたま社員旅行で県外におり、宮城に戻っても身動きができないと判断、東京から修繕業者に連絡して復旧の手配、納品先や資材サプライヤーとの調整に奔走。従業員とその家族の生活をを守るためには、自動車産業全体の生産を守るこ



本社工場の様子

とが最優先と考え、会社の命ともいえる金型を他の取引先に渡して代替生産をしてもらう決断をした。そして、多くの人々の協力で震災から20日後には生産を一部再開。誰一人解雇することなく、復興へ突き進んでいった。

MIMによる画期的な金属加工システムで 医療に関する高品質な製品を生み出す

同社では、鉄・ステンレス系の材料を使用し、長年培ってきた金型技術と成型技術、粉末冶金技術を合わせてMIMを開発。従来の加工法では困難とされる、コンパクトな三次元複雑形状部品を高精度・高密度、さらに低コストで大量生産ができるのが特徴で、その製品は国内トップクラスだ。そのMIM

を活用して歯列矯正部品や内視鏡に使われる鉗子なども手掛けている。現在、同社のダイカスト製品の売上の約80%は自動車業界向けである。自動車は今後、EV化の進展により、純エンジン車と比べて約1万点の部品が減るといわれている。部品数は減るが部品個々の軽量化に活路を見出すとともに、MIMによる生産拡大に加え、手術ロボット部品などの医療機器や光通信などの分野にも進出を図り、さらなる飛躍を目指し歩み続けている。



MIMの製品サンプル

岩機ダイカスト工業株式会社

自動車関連産業の発展はもとより最先端の独自技術で新たな産業への介入や市場を開拓

1968年に岩機ダイカスト工業所として創業を開始し、1969年に株式会社化。高品質のアルミ、亜鉛、スクイズ製品や小型・複雑形状の金属粉末射出成形品（MIM）の自社一貫生産を行う総合ダイカストメーカー。創業以来、高品質な製品づくりに邁進し、製造売上の約80%を自動車業界各社と取引している。また最先端であるMIM製品は、独自の技術により国内トップクラスの製造を誇る。

所在地 巨理郡山元町鷺足字山崎51-2
代表 代表取締役社長 齋藤明彦
資本金 2億円
設立 1969年（創業開始 1968年）
従業員数 307名（2024年3月現在）
事業内容 アルミ・亜鉛・スクイズダイカスト製品、精密亜鉛ダイカスト製品、金属粉末による射出成形品の製造販売
TEL 0223-37-3322（代表）
URL <https://www.iwakidc.co.jp>

